

日 廃 振 セ 発 第 49 号

令 和 4 年 6 月 27 日

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 正会員
会 長 殿

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
理事長 関 荘 一 郎



「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)」
の講義ビデオ会場視聴型講習会の開催について

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当センターの教育研修事業につきましては、平素より特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「講義ビデオ会場視聴型講習会」を下記のとおり開催することといたしました。当講習会は申込書により申込んでいただき、会場で講義ビデオを視聴してから試験を受ける形式です。そのため、パソコンやインターネット環境等がないためオンライン形式の講習会を受講できない方も受講いただける講習会となっております。

つきましては、引き続き格別のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 開催する講習会
産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新) 収集・運搬課程
2. 開催日程公表日:令和4年7月4日(月)
3. 申込受付開始:令和4年7月下旬予定(決定次第、当センターのホームページに掲載いたします。)
4. 申込方法:申込書を使用した書面申込
5. 講習会概要:別紙のとおり

講義ビデオ会場視聴型講習会の概要

1. 開催日程（定員 各会場 50人）

・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新）

収集・運搬課程

開催日	開催地	会場名	受付機関 (申込書取り寄せ先)
2022年9月13日(火)	大阪	天満研修センター	(公社)大阪府産業資源循環協会 TEL 06-6943-4016
2022年9月21日(水)	愛知	名古屋銀行協会会館	(一社)愛知県産業資源循環協会 TEL 052-332-0346
2022年9月28日(水)	東京	ベルサール西新宿	(一社)東京都産業資源循環協会 TEL 03-5283-5455
2022年11月8日(火)	新潟	新潟グランドホテル	(一社)新潟県産業資源循環協会 TEL 025-246-9288
2022年11月8日(火)	大阪	天満研修センター	(公社)大阪府産業資源循環協会 TEL 06-6943-4016
2022年11月9日(水)	宮城	宮城県建設産業会館	(一社)宮城県産業資源循環協会 TEL 022-290-3810
2022年11月16日(水)	東京	ベルサール西新宿	(一社)東京都産業資源循環協会 TEL 03-5283-5455
2022年11月16日(水)	福岡	(公財)福岡県中小企業振興センター	(公社)福岡県産業資源循環協会 TEL 092-651-0171
2022年11月22日(火)	静岡	もくせい会館	(公社)静岡県産業廃棄物協会 TEL 054-255-8285
2022年11月22日(火)	香川	ホテルパールガーデン (旧ウェルシティ高松)	(一社)香川県産業廃棄物協会 TEL 087-873-2456
2022年12月13日(火)	岐阜	じゅうろくプラザ	(一社)岐阜県産業環境保全協会 TEL 058-272-9293
2022年12月13日(火)	岡山	ピュアリティまきび	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL 086-254-9383
2022年12月14日(水)	北海道	北海道自治労会館	(公社)北海道産業資源循環協会 TEL 011-241-7611
2022年12月14日(水)	三重	四日市商工会議所	(一社)三重県産業廃棄物協会 TEL 059-351-8488

2. 受講料

19,800 円(税込)(対面形式受講料を適用)

3. 申込受付開始日

令和 4 年 7 月下旬を予定、決定次第当センターのホームページに掲載

4. 講習会の受付から受講までの流れ

「受付機関」に電話し、申込書類を取り寄せていただき、申込書を受付機関に送付することでお申込みいただけます。インターネットからのお申込みは行えません。なお、受付機関は開催地ごとに異なりますので、申込書類は、受講を希望する開催地の受付機関にお電話して取り寄せていただきます。

5. 講習科目及びプログラム(当日のスケジュール)

9:05	9:20	10:00	11:00	12:10	13:10	14:00	14:40	15:00	16:10	17:00
開講式	廃棄物処理法概論			昼休み	安全衛生管理	休憩	収集・運搬		休憩	修了試験

会場のスクリーンに上映する講義ビデオを合同で視聴して受講いただき、講義受講後、同会場にて試験を受けていただきます。

6. 講習会場と感染防止対策

感染防止の観点から、以下の会場で感染防止対策を講じた上で実施します。

- ① 3密を回避するために、定員を会場の収容能力の3分の1程度とし、かつ受講者間を最低1メートル以上あけた座席配置とすること。
- ② 換気が良好で受講者が十分な間隔を置いて着席できる会場で行うこと。
- ③ 受講者のマスク着用を必須とし、手消毒を徹底すること。
- ④ 当日の検温、体調不良者の受講制限を行うこと(発熱者等への対応)。